

広報

No. 197

くまがた

平成元年11月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもな内容
※※※※※

義経まつり武者行列	2～3
町民ウォーキング大会	4
赤い羽根共同募金運動	5
平成元年度町表彰式	6
平成元年度上半期財政状況	7
平成元年度成人者	8
ふるさとの文化財	9
おしらせ	10～11
公民館だより	12～13
わだい	14



にぎやかに
義経まつり
武者行列

'89 11月

今年は、文治5年（1189）阿津賀志山を舞台に藤原泰衡の守る奥州軍と、源頼朝の率いる鎌倉軍が激戦を繰り広げた奥州合戦から八百年目にあたります。

これを記念する「国見町あつかし山奥州合戦八百年祭」が、秋晴れに恵まれた10月29日行われ、メインイベントの武者行列が、町内外からの大勢の見物客が見守る中、藤田中心街を練り歩きました。

武者行列 奥州合戦八百年祭～

沿道には

多くの見物客

奥州合戦から今年で八百年となるのを記念する「国見町あつき山奥州合戦八百年祭」は、十月二十九日から十一月五日までの日程で行われ、期間中「義経まつり武者行列」をはじめ、多彩な催しが繰りひろげられました。

初日の二十九日は、メインイベントの武者行列が行われ、出陣式・帰陣式の会場となった福祉センター広場をはじめ、武者行列が練り歩いた沿道には、勇壮な武者姿を見ようと町内外から多くの見物客が訪れました。

源義経など

騎馬16頭

十月二十九日は、真ッ青に晴れわたる絶好の祭り日和。午後一時半から福祉センター広場で出陣式を行った後、町内各小学校児童の鼓笛隊を先頭に、県北中学校生徒の手作り甲冑隊、源義経にふんし騎馬にまたがった富永武夫町長、武蔵坊弁慶にふんした玉手昭一町議会副議長など約九百人が、金、銀、朱のあでやかな衣装に身を包み、藤田



▲勝ちどきを上げていざ出陣

中心街を約3kmにわたり行列。沿道の多くの見物客から大きな拍手がおくられました。
藤田小グラウンドでは、鎌倉軍と藤原軍に分かれた県北中生が、当時の合戦を再現した模擬合戦を披露しました。
このほか、歩行者天国ではミニS1試乗会、美味模擬店、わんこそば大喰コンテストなど楽しい企画が盛りだくさん用意され、終日、多くの人出でにぎわいました。



▲岩手県平泉町からもかけつけてくれました



勇壮な時代絵巻

義経まつり

～国見町あつかし山



▲相馬中ノ郷騎馬会の皆さん



▲祭りを盛り上げた町内小学校鼓笛隊



▲夕暮れのなか行われた傳陣式



▲県北中生手づくり甲冑による模擬合戦



快晴のもと 町民ウォーキング大会

町、国見町あつかし山奥州合戦八百年祭実行委員会、国見町健康づくり推進協議会が主催する「奥州合戦八百年祭町民ウォーキング大会」は、快晴に恵まれた十月十日、百二十名が参加して行われました。

コースは役場を出発し、義経腰掛け松、岩淵遺跡、下二重堀防塁などを見学する約18km。途中、森江野町民センターでは用意された豚汁に舌づつみを打ち、再び元気いっばい歩きはじめました。今回参加された方の最年長者遠藤義亮さん(76)をはじめ、全員が無事完歩しました。



▲厚樫山もくっきりと



▲最高齢者の遠藤義亮さん



▲歩け、歩け



▲うまい!



▲これが一番らくちん

教育委員に 野村和夫さん 齋藤庸吉さん

教育委員の横山市郎さん、村上太一さんの退任によって、新しく野村和夫さん(58)・小坂宇板橋二四が九月二十六日付、齋藤庸吉さん(55)・森山宇東新田一六が十月一日付で九月定例町議会の同意を得て任命されました。

また、佐藤利雄さん(69)・石母田字横町九も再任され、十月二日に開かれた町教育委員会において引き続き教育委員長に選任されました。



佐藤 利雄さん



齋藤 庸吉さん



野村 和夫さん

共同募金運動

赤い羽根

幸せづくりにあなたの心を

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が、10月1日にスタートし、12月末日まで続けられます。なかでも12月は、この共同募金運動を締めくくる「歳末たすけあい

募金」活動が、より活発に行われる時期です。こうした運動を通して集められたお金は、民間の社会福祉団体や施設が行う福祉事業の資金となります。

募金運動を支える たすけあい精神

共同募金運動は、昭和二十二年に「たすけあい」の国民運動として始まりましたが、なぜ、たすけあいが必要だったのでしょうか。

敗戦によって民間の福祉団体の事業資金が不足し、生活に困っている人たちが十分にたすけあいていくことができなくなったためです。そこで、国民相互のたすけあいが必要だったのです。このたすけあい精神は、今も共同募金運動を支えていく大きな柱となっています。

社会福祉活動の 充実を

高齢化社会の到来は、社会福祉の一層の充実が求められる一つの原因です。また、身体障害

者の皆さんが持つ能力を社会に生かしていくためには、地域の福祉活動が必要で、こうした社会福祉活動をより充実させていくうえで、この共同募金運動は、民間の社会福祉団体の財源を確保する担い手としての役割を果たしています。

では、この募金活動は、だれがどのようにして、行っているのでしょうか。

募金活動は二百万人の ボランティアの手で

昨年、皆さんから寄せられた寄付金の総額は約二百三十五億

円でした。これは、延べ二百万人といわれるボランティア一人一人の力によって集められたものです。

募金の仕方には、ボランティアの人たちが家々を訪ねてお願ひする戸別募金、一般企業などの法人から受ける法人募金などがあります。

そして、運動が始まったときによく見かける街頭募金、変わったところでは、一つの職場の中で働いている人たちがボランティアとなり、職場内で募金活動を行う職場募金というやり方もあります。

募金は何に使われる？

さまざまな方法で集められた寄付金は、現在、在宅の寝たきりや一人暮らしのお年寄り、心身に障害のある人たちへの福祉サービスなどの地域福祉、施設援護に役立っています。

もし、あなたが千円寄付すると、その千円はどのようなことに使われるのでしょうか。

そして、寄付全体ではいくらくらい使われているのかを表にしてみました。じっくりご覧頂いて、共同募金運動にご協力ください。

昭和63年共同募金の配分総額		210 億円
配分額	どんな事業に配分されたか	千円別の配分額
75 億円	年末年始、生活に困っている人たちに灯油や毛布を贈ったり、一人暮らしのお年寄りのための年末の掃除などに	357 円 (35.7%)
50 億円	ボランティア活動をすすめたり、福祉活動への要望を調査するために	238 円 (23.8%)
31 億円	一人暮らしや体の不自由なお年寄りのための給食・入浴のサービスなどのために	148 円 (14.8%)
19 億円	子供たち全体のための遊び場やおもちゃ図書館などのために	90 円 (9.0%)
18 億円	体の不自由な人のための訓練設備や、家から通い仕事をする共同作業所などのために	86 円 (8.6%)
17 億円	いろいろな相談活動、その他の福祉活動費に	81 円 (8.1%)

※配分総額とは寄付金総額から事務経費などを除いた額のことです。

平成元年度表彰

晴れの受賞を祝う

～松田さんら25人を表彰～



▲受賞者の皆さん

「平成元年度国見町表彰式」が、十一月九日に町公民館で行われました。式では、長い間、地方自治の発展に尽力された十四人の功労表彰者をはじめ、二十五人に富永町長から表彰状と記念品が贈られました。

この表彰式は、町表彰規定により、本町の政治、経済、産業、文化、社会など町政各般にわたって、町政の振興、発展に尽くされた方々を顕彰するもので、今年で二十三回目を迎えました。今年度は、功労表彰として農業委員の松田平治さん、消防団の斎藤栄司さん、高額寄附者の小西長三郎さんをはじめ十四人が受賞、善行表彰は多年町内会長、納税貯蓄組合長を務められた佐藤和次さんら十一人が受賞。また、多年の文化振興に尽くされた功績により画家の石原晃雲さんと、あかし俳句会の熊田一怡さんに特別功労賞が贈られました。

(敬称略)

◆功労表彰

- ▽松田 平治 (農業委員)
- ▽石川 博義 (農業委員)
- ▽斎藤 栄司 (消防団員)
- ▽斎藤 重美 (消防団員)
- ▽石川 好一 (消防団員)
- ▽小林 光雄 (消防団員)
- ▽浅野 洋一 (消防団員)
- ▽佐藤 武志 (消防団員)
- ▽小西長三郎 (一般)
- ▽奥山 陸夫 (町職員)
- ▽佐藤 光男 (町職員)
- ▽佐竹 朝子 (町職員)
- ▽斎藤アイ子 (町職員)
- ▽佐藤 幸子 (町職員)

▽善行表彰

- ▽佐藤 和次 (町内会長・納税貯蓄組合長)
- ▽野村 勝一 (町内会長)
- ▽古内 吉蔵 (町内会長)
- ▽佐々木義蔵 (町内会長)
- ▽佐藤 政一 (納税貯蓄組合長)
- ▽高橋 照治 (納税貯蓄組合長)
- ▽菊地 順偉 (納税貯蓄組合長)
- ▽佐藤喜久雄 (納税貯蓄組合長)
- ▽佐藤 正一 (納税貯蓄組合長)
- ▽石原 晃雲 (画家)
- ▽熊田 一怡 (一般)

財政公表

一般会計は8億8,780万円の支出

～平成元年度上半期の財政状況～

今年度上半期(四月から九月まで)の、各会計の財政状況を公表します。

つまり、町財政の収入と支出について、九月三十日現在の中間報告ともいえるものです。

この公表は、町条例の規定によつて行うもので、詳しく知りたい人は、役場総務課におたずねください。

一般会計の執行状況	(歳入)			(歳出)					
	区分	予算額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)	区分	予算額(千円)	支出済額(千円)	執行率(%)	
町	町民税	643,745	387,112	60.1	議会費	73,857	36,031	48.8	
地方	譲与税金	81,900	16,554	20.2	総務費	475,057	174,155	36.7	
地区	子割交付金	13,583	4,577	33.7	民生費	181,628	70,691	38.9	
自治	ゴルフ場利用税交付金	9,072	1,782	19.6	衛生費	343,128	107,091	31.2	
地方	自動車取得税交付金	40,500	14,412	35.6	農林水産業費	234,322	63,267	27.0	
地方	交通安全対策特別交付金	1,307,641	988,944	75.6	商工費	19,511	13,842	70.9	
分担	金及び負担金	2,467	900	36.5	土木費	434,596	134,906	31.0	
使用	料及び手数料	11,869	4,664	39.3	消防費	115,817	55,204	47.7	
国庫	支出金	29,790	16,486	55.3	教育費	371,536	156,609	42.2	
県支	出金	74,056	12,975	17.5	災害復旧費	40,451	422	1.0	
財産	収入金	122,311	10,243	8.4	公債費	205,031	75,582	36.9	
附入	金	1,755	4,904	279.4	諸支出金	34,154	0	0	
繰越	金	1,051	1,053	100.2	予備費	6,000	0	0	
繰上	金	106,670	0	0					
繰下	金	35,319	35,319	100.0					
諸取	入債	26,959	16,971	63.0					
町	入債	26,400	0	0					
合	計	2,535,088	1,516,896	59.8	合	計	2,535,088	887,800	35.0

地区	区分	9月末残高(千円)
土教	木育	581,166
方公	住宅	713,535
債営	福祉	34,855
の童	土木	1,674
社農	福祉	23,496
保林	社体	1,321
消社会	育防	112,599
衛生	衛生	8,330
災復	旧他	6,000
害復	旧他	71,171
そ復	旧他	119,068
計	計	1,673,215

町	区分	予算額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)
町	町民税	260,507	128,936	49.5
税	固定資産税	312,372	219,389	70.2
の	軽自動車税	11,841	11,897	100.5
取	町たばこ税	53,737	21,306	39.6
入	特別土地保有税	228	697	305.7
状	旧法税(電気税)	5,060	4,886	96.6
況	計	643,745	387,111	60.1
	国民健康保険税	321,507	160,090	49.8

特別会計の執行状況	会計名	予算額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)	支出済額(千円)	執行率(%)
	国民健康保険特別会計	713,187	343,287	48.1	243,600	34.2
	老人保健特別会計	526,244	252,070	47.9	200,939	38.2
	渇水対策施設特別会計	32,002	23,001	71.9	15,042	47.0
	貝田簡易水道特別会計	10,595	6,439	60.8	4,318	40.8
	育英事業特別会計	4,911	3,819	77.8	1,708	34.8
	入山財産区特別会計	5,281	3,471	65.7	3,074	58.2
	藤田財産区特別会計	294	293	99.7	106	36.1
	大木戸財産区特別会計	270	275	101.9	92	34.1
	石母田財産区特別会計	385	339	88.1	151	39.2
	公共下水道特別会計	94,058	31,037	33.0	18,818	20.0

平成元年度 成人者

来年一月十五日成人式



来年一月十五日の「成人の日」には町の成人式が行われます。対象者は、昭和四十四年四月二日から昭和四十五年四月一日までに生まれた方で、町内在住者です。ただし、希望すれば町出身の町外在住者でも出席できますので、早めに教育委員会に申し込みください。

十一月一日現在の予定者は次のとおりです。氏名に誤りや記載もれがあればお知らせください。
(三八五一一二一一内線二二二、有線四一七)

(敬称略)

●小坂地区 20名

遠藤	仲野	阿部	安藤	佐藤	佐藤
藤	周	智	藤	藤	藤
茂	子	之	直	ゆ	淳
高	渡	野	美	み	子
橋	邊	村	朽	子	早
久	直	裕	木	安	田
美	喜	一	深	藤	裕
		博	雪	豊	

●藤田地区 62名

高	赤	安
原	坂	藤
達	正	美
夫	行	和
鴨	菅	福
田	野	田
良	良	陽
明	子	
齋	高	齋
藤	橋	藤
子	博	詳
園	幸	子
井	安	園
江	藤	井
美	綾	江
子	子	美
太	田	高
間	哲	橋
敏	也	博
夫	伊	幸
佐	藤	安
藤	日	藤
幸	出	井
花	男	江
輪	誠	美
忠	子	子
康		
佐	武	齋
藤	田	藤
敏	佳	子
明	代	子
岩	子	
城	渡	
影	邊	
朗	浩	
行	行	
鈴	德	鈴
木	江	木
秀	男	秀
男	星	男
八	島	八
島	隆	島
正	香	正
鈴	奥	鈴
木	山	木
秀	浩	秀
男	星	男
阿	曾	阿
曾	一	曾
江	江	江
雅	壽	雅
壽	江	壽
鈴	反	鈴
木	田	木
美	透	美
由	古	由
紀	高	紀
阿	み	阿
部	ゆ	部
美	き	美
ゆ	子	ゆ
美	子	美
子	子	子
佐	佐	吉
藤	藤	田
水	無	上
無	子	上
子	村	村
菊	岳	村
地	美	村
真	美	村
由	美	村
美	美	村
子	子	子
八	菊	八
島	地	島
智	真	智
子	由	子
吉	村	吉
田	上	田
幸	郁	幸
子	子	子

●森江野地区 26名

佐	山	仲	羽	大	菊	須	松	佐	吉	八
藤	崎	野	根	和	地	藤	浦	藤	田	卷
由	明	剛	田	田	守	浩	由	美	清	孝
紀	美	剛	浩	子	一	五	美	美	和	文
子	大	高	高	高	小	十	佐	鈴	高	高
佐	内	野	橋	橋	紫	嵐	藤	木	橋	橋
藤	勝	悦	義	義	寿	純	美	智	美	江
泉	広	子	光	光	枝	子	美	賀	友	江
					勤		子	子	行	子

●大枝地区 7名

井	鈴	小	鈴
砂	木	林	木
順	真	孝	英
子	由	幸	行
	美	松	齋
	瀬	浦	藤
	戸	淳	嘉
	広	一	弘
	美		

合計144名(男69名、女75名)

●大木戸地区 29名

大	高	阿	高	星	星	松	松	松	吉	志	阿	洪	松	星	高	大
河	部	部	部	野	野	浦	浦	浦	田	村	部	谷	浦	野	橋	原
敏	剛	剛	剛	博	博	幸	幸	幸	幸	輝	尊	正	幸	幸	正	原
佐	高	高	高	山	山	山	山	山	山	吉	八	星	山	山	山	原
藤	橋	橋	橋	啓	啓	啓	啓	啓	啓	田	島	野	山	山	山	原
美	裕	裕	裕	隆	隆	隆	隆	隆	隆	勝	敬	美	啓	啓	啓	原
友	子	子	子	二	二	二	二	二	二	彦	之	和	隆	隆	隆	原
行	行	行	行	子	子	子	子	子	子	彦	之	和	隆	隆	隆	原
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	彦	之	和	隆	隆	隆	原

健康講演会 開催される

町と国見町健康づくり推進協議会が主催する「健康講演会」が十月三日、町民福祉センター講堂で開催されました。

公立藤田総合病院院長の本宿尚先生を講師に迎え、「成人病予防の日常生活」について講義があり、先生独特のユーモアを交じえたわかりやすい説明に、参加された約九十人の町民の方はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

参加された皆さんは、成人病に対する知識を一層深め、今後の健康管理に役立てようと真剣に学んでいました。



▲健康講演会

ふるさとの文化財

67

貝田向山砦跡

菊池利雄



貝田向山砦跡所在図

元禄十三年(一七〇〇)作成にかかるといわれる『奥州伊達郡貝田村絵図』(明治〇年刊行、(編纂)阿津賀志山)によれば、JR東北線貝田駅の東約五百、旧仙台藩領との境界(城の境)上の稜線上にあつた山が描かれている。

言われ、標高約二五〇、安永二年(一七七三)の仙台藩(刈田郡越河村御用書上)や、明治十三年(一八八〇)に書かれた『信達二郡村誌』貝田村の項にも記載がある。

この山より旧村の貝田と光明寺の境界に沿って、南に延びる支脈上を約八百、程降りれば、稜線上の高地向山(標高百)に達する。貝田の街村の東約五百に位置しており、向山の北側は沢田山、南は新田山・滝山、そして光明寺の志田峰と周辺は急崖状の傾斜地をなし、西側向沢田の低地との比高は約五〇、を

はかるといえる。この要害地である。この向山の山頂部には、小規模ではあるが土塁と空堀がめぐらされ、西に延びる稜線に浅い堀切が残されており、北東稜線

上の沢田山にも土塁遺構がある。この砦の築かれた時期などについては、地元の伝承を欠き明らかでないが、宮城県白石市教育委員会作成の「埋蔵文化財包蔵地分布地図」によれば、どのような遺構を根拠としているかは明確ではないが、前記の阿津賀志山を含めて、現在のゴルフ場一帯の地を高寺山館としてとらえられているが、この向山砦はその範疇には含まれていないようである。

向山砦は国見町内に分布をみている。文治五年(一一八九)源頼朝の鎌倉軍を迎撃するため、藤原泰衡によって構築された阿津賀志橋の一部をなす砦とみられ、東山道を貝田の地狭部を通過して北上する鎌倉軍に、側面より攻撃をかけるために築かれたものであろうか。鳥取の二階平砦・石母田の陣場館、駒場砦などと構造的にみても類似していることから、この時期における構築をみた可能性が高い。

今後、阿津賀志橋の解明を進める上で、本稿で取り上げたような関連の砦跡の調査が不可欠であり、遺構とみられる土塁や空堀などをご存知の方がいらっしゃいましたら、御教示をお願いいたします。

(本稿の取材に当たっては、貝田の郷土史家、氏の御教示) (本稿の取材に当たっては、貝田の郷土史家、氏の御教示)

平成2年

1月から土曜閉庁

第2・第4土曜日を休ませていただきます。

町民の皆さんの御理解と御協力をお願いいたします。

次の施設は
休みません

次の施設については、従来通り土曜日でも業務を行います。

国見町では、平成二年一月から一部の施設や業務を除き、毎月第2・第4土曜日を休みとする「土曜閉庁」を実施することになりました。

今までは、各土曜日に交替で半分ずつ出勤する「四週六休制」を実施してきましたが、すでに国・県が土曜閉庁を実施していることや、民間の各会社でも週休二日制が進展していることもあって、伊達管内の町村が一斉に来年一月から「土曜閉庁」を実施することにしたものです。

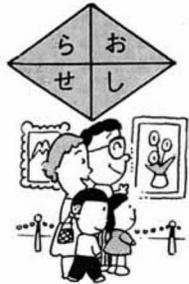
休みになる施設

第2・第4土曜日が休みとなるのは役場の一般業務です。

ただし、窓口業務のうち、死亡届の受理や、埋火葬許可書の発行は、日曜日と同じく取り扱います。

- ・森江野町民センター
- ・町立学校施設(ナイター施設、体育館など)

なお、閉庁にあたっては、緊急の場合にも支障のない業務体制の整備を行うほか、行政サービスを極力低下させないよういたしますので、町民の皆さんの御理解と御協力をよろしくお願いたします。



秋の全国火災予防運動

朝晩の冷え込みとともに、これからは空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。火の取扱いは十分注意し、火災の無い明るい町をみんなで築きましょう。

秋の全国火災予防運動

今年から11月9日「119番の日」と関連付け、11月9日から11月15日までの7日間となりました。災害に遭ったら、

災害を見たら、

正確な住所、氏名、電話番号ともうひとつ、近くの目標物を迅速正確に通報することが、被害を小さくします。

消火器の

訪問販売にご注意、

近頃、悪質業者の訪問販売による苦情が殺到しております。販売方法としては、

○法律が改正され、消火器を備

える義務がある。

○消防署の方から来た。

○消防署の関係者だ。

といった、大変まぎらわしい方法です。消防署では、消火器の販売は一切いたしておりません。おかしいと感じたら、代金を支払う前に消防署へ連絡し、確認してください。

伊達地方消防組合西分署

☎八二一三一九〇

ルールを守って

楽しい狩猟

11月15日

12月15日



ハンターの皆さん、待望の狩猟が11月15日解禁になりました。ルールとマナーを守り、事故のない楽しい狩猟をしましょう。

◆狩猟をするときは

○発射の際は、必ず前方(矢先の安全を確認し、安全が確認できない時は発射しない。

○水平撃ちをしない。また竹林など跳弾のおそれのある場所では発射しない。

○人家や人の気配がする方向には、絶対銃口を向けない。

○実包は発射の直前まで装てんしない。また、必要がなくなったら直ちに脱包する。

○歩行、休憩時には銃を折っておくか、遊底を引いて機関部

を開放しておく。

特設人権相談所

を開設

福島地方法務局、福島人権擁護委員協議会及び町では、次のとおり無料特設人権相談所を開設いたします。

○学校、職場の問題

○家族内の問題

○近隣関係の問題

相談内容はすべて秘密です。で、困りごと、悩みごとがありましたら、お気軽においでください。

担当者は、人権擁護委員および法務局職員です。

◇日時

平成元年12月6日(水)

午前10時～午後3時

◇場所

国見町福祉センター

64歳までの方は

国民年金に加入できます

国民年金には二十歳から六十歳までの方は必ず加入しなければなりません。六十歳になつたときに過去に任意加入しなかつた期間や未納期間、追納できない免除期間があり、年金が受けられなかったり、年金額が少

なかつたりする場合、六十五歳になるまでの間、国民年金に加入することができます。

本人の任意の加入です。申出のあった日から加入となります。希望の方は、六十歳になつたら早めに申出しましょう。

知っていますか？

このマーク



地域食品認証マーク

私たちの生活になじみの深い「豆腐、油揚げ、納豆、こんにやく、かまぼこ類」これらの包装をよくご覧ください。このマークが付いていませんか？

加工食品の全国的基準としてJAS規格があり、買物の目安として親しまれていますが、これらの食品のよけに県内で生産され、流通している加工食品(地域食品)は保存性が低く、地域によって味や大きさが違うなどの理由で、JAS規格の対象からはずされています。

そこで県では、これらの地域食品について認証制度を設け、製造施設、品質管理、品質及び

表示のそれぞれの基準に適合した工場を認証しています。その工場の基準に適合した製品に付けられるのがこの「地域食品認証マーク」です。

また、このマークはJAS規格を補いながら、地域食品の品質向上を図ることを目的に設けられたことから、別名「ミニJAS」と呼ばれています。

ぜひ、購入の際の目安にしてください。

国民年金の

福祉施設を

利用しましょう

国民年金の福祉施設には、国民年金中央会館と国民年金保養センターがあります。保養センターは、自然公園や温泉などの恵まれ環境に設けられ、四季を通じて利用できます。また、その数は全国で44か所になっています。

利用料金は、一泊二食付で、大体五、〇〇〇円見当です。お申込み、お問い合わせは各保養センターへ、電話又はハガキでどうぞ。

福島県の国民年金保養センターは「阿多多羅」です。

〒964 福島県二本松市岳温泉一丁目二百一、☎〇四三三一二

四一三三〇六



青少年健全育成

剣道大会を開催

国見町、桑折町及び福島県剣道連盟桑折支部主催の第24回国見町桑折町青少年健全育成剣道大会が、10月22日、町民体育館で開催されました。

この大会は、青少年健全育成を目的として剣道愛好者が一同に会し、相互の親睦と心身の鍛錬を図ることを主として行われました。

開会式では、大会長富永武夫



▲熱戦が展開された剣道大会

町長のあいさつ、来賓の佐藤義夫桑折町議会議長、関根英敏桑折警察署長などの祝辞があり試合に入りました。

豆剣士たちは、お父さんお母さんの声援を受け、団体戦、個人戦に熱戦が展開され、すばらしい大会となりました。

成績は次のとおり。

- 団体戦 小学生低学年(一〜三年)
 - ①桑折 A ②国見 A ③桑折 B
- 小学生高学年(四〜六年)
 - ①桑折 A ②国見 A ③国見 B
- 中学生男子
 - ①釧芳中 ②国見 A ③国見 B
- 中学生女子
 - ①釧芳中 ②国見 A ③国見 B
- 個人戦 小学一、二年生
 - ①古山卓也(桑) ②佐久間健太(国) ③佐藤洋平(国)
- 小学三、四年生
 - ①村木貴紀(国) ②瀬戸貴紀(国) ③大和田明日美(国)

小学五、六年生

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

「電気教室」

施設見学に参加して

十月十一日、「原子力発電所」ってどんな所だろう。期待と不安でバスに乗りました。

始めはエネルギー館、人工芝の庭とすてきな建物が見えました。「ワーきれい！」思わず叫んでいました。するとそこが私達の目的地エネルギー館。エジソン、キュリー夫人、アインシュタイン、三人の生家をモデルにして作ったのだそうです。サイエンスシアターや模型、ゲームなどで原子力発電について子供達も楽しみながらわかってしまふ、そんな所です。

次は第一原子力発電所です。サービスホールでは、原子炉の実物大模型を運転させながらの説明があり、いよいよ第一原発の中へ。(ここは一般の人は入れないのだそうです)

双葉町と大熊町にまたがり、総面積が甲子園球場の八十八倍の広さがあり、多い時は八千人もの人達が働いているとのこと。

今、私達は空気と同じように電気も、あって当たり前という生活をしています。電気の需要量はますます増え、限られた資源の中では、やはり原子力にも頼らざるを得ないのでないかと思えます。

安全確保のため何重にもなっている防壁や監視体制など、想像以上の施設のすばらしさに、感心させられた一日でした。東北電力さんのご厚意で、色々な事を勉強させて頂き、心の中が暖かくなったような気持ちで帰路につきました。

高齢者 婦人運動会が行われる

町恒例の高齢者、婦人運動会が十月八日(日)午前八時半から福祉センター前広場で開催されました。

心配された雨も上がり、好天の下で約二百人が参加し盛大に行われました。

大会長の蓬田教育長のあいさつ、来賓の富永武夫町長、松浦義男議長、佐藤忠美文教厚生常任委員長の祝辞があり、その後準備運動のラジオ体操を行い競技に入りました。

団体七種目、よちよちペンギン、急がず焦らず、ケツ庄測定



▲急がず焦らず!

森江野西チームが

初優勝

町、町体協主催の第八回町長杯争奪ソフトボール大会が、九月一日から十月十三日までの長期に行われ、県北中グラウンドで開かれた。

大会には、地区、職場で編成した二十六チームが参加し、町長の始球式により熱戦が繰り広げられました。

試合の結果は次のとおり
優勝 森西スポーツ振興会
準優勝 貝田スポーツクラブ
第三位 旭スポーツ振興会
国見町役場

第八回町長杯争奪ソフトボール大会に

参加して

広居重夫

今回の町長杯ナイターに参加して泣かされたのは、天気でした。

毎日の様に雨が降り、試合が延期延期で第一試合が六回目でやっとする事ができ、その間、連絡してメンバーの確保に大変苦労しました。これは、参加チームとも、同じ苦労だったと思います。

私たち森西チームが順調に勝

ち進み、思いもよらなかつた決勝戦にもかろうじて勝って優勝することができました。

戦いを振り返ってみると、一番は雨(グラウンドコンディション)に泣かされ、次に寒さに泣かされたような気がします。しかし、私たちが森西チームと対戦したチームの方々とも交流を深めながら、楽しくプレーできた事は本当に良かったと思っています。



▲富永町長による始球式

成人学級

内池育男

今年度の成人学級研修旅行は、新潟方面一泊二日二十一名の参加で行われ、二日間共に絶好の秋晴れに恵まれました。

十月二十五日午前七時、公民

館出発。栗子トンネル、赤芝峠を通り新潟県に入り、三条燕洋食器センターで昼食。スプーン製造工程を見学した後、弥彦神社に向かいました。

参道入口に、日本一の赤い大鳥居を樹した弥彦神社は、うっ蒼たる木々に覆われた広大な神域に、荘厳に鎮座していました。弥彦山スカイラインでは、真下に見える日本海と、その先に横たわる佐渡ヶ島とが、まさに絶景。傾きかけた陽光がまた一段と趣を添えていました。

宿泊地は村杉温泉。ひっそりと山懐に包まれた温泉地で、旅館は旅情をそそる純日本風の落ち着きある角屋旅館。湯も快適で、地方の特徴を巧みにあしらった心のこもった料理がまた格



▲越後胎内観音にて

別でした。翌朝は八時半出発。途中、鹽湖に寄り、今回研修のメインである北方文化博物館に向かいました。

北方文化博物館は、越後の豪農伊藤家の旧本家を、七代目文吉氏が寄付し、創設されたものと言われています。その館は天守閣こそないが、さながら城を思わせて、越後豪農の壮大さが偲ばれました。そのひさしを支える丸桁の中に、長さ三十畳にも及ぶ杉丸太があり、この丸太は会津から伐り出されたとのこと。この一本の丸太に、どれだけの人力と経費が費やされたのだろうか、としばし感慨にふけりました。

帰路は、胎内観音を参拝した後、同じように越後の豪農屋敷、国指定重要文化財である渡辺邸を見学しました。渡辺邸は、今から二百年以上前に建てられた屋敷ですが、その木組はまことに素朴豪快であり、掲示されていた渡辺家の「一家の掟」は、ぜいたくを徹しく戒めたもので、その質実剛健な家風に感銘を受けました。

こうして全ての研修を終え、再び夕陽に映える赤芝峠の紅葉を眺め、夕闇迫る午後五時頃公民館に帰着。国見町成人学級

町長杯争奪

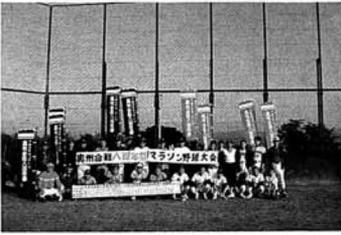
GB大会を終えて

斎藤 正美

第七回国見町町長杯争奪ソフトボール大会は、九月二十九・三十日の二日間、福祉センター前広場で行われました。競技は初日十七チーム、二日目八チームによるリーグ戦、そして二日目の午後、各グループより勝ち進んだ四チームによって、決勝戦を行うという日程でした。

最近、各チームとも技能の進歩めざましく五、六日のタツチもピシツとまきまり、難しいスライダーなども取り入れ、いずれも手に汗握る好ゲームの連続でした。国見町のGBチームの、他町に比べての美点はコートマナーの良い事で、見ていても好感がもてました。

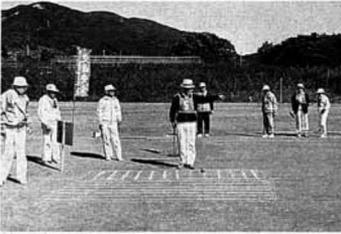
二日間のリーグ戦を終えて午後、勝ち残りの四チームでの決勝トーナメント戦に入りました。特に今大会のハイライトである、四強豪激突の決勝戦は見もので、大熱戦の結果、藤田第二長寿会が優勝杯を獲得、準優勝は森山老人クラブB、三位は小坂榮寿会、山崎長寿会Bの二チームでした。



▲お疲れさまでした

奥州合戦八百年を記念する町体協野球部(秦秋次部長)、主催のマラソン野球大会が、十月二十二日、県北中グラウンドで開かれました。
大会は日頃、野球を通じ健康づくりに励んでいる選手の方々が、奥州合戦八百年にちなんで鎌倉軍と奥州軍に分かれて、

30インニング 19対16 奥州合戦八百年記念 マラソン野球大会

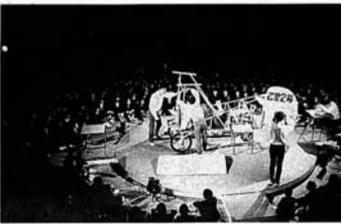


▲横断歩道では左右の安全を確認

「ゲートボールを楽しむながら交通安全の意識を高めよう」と、桑折地区交通安全協会が主催したゲートボール大会は十月二十四日、大木戸の町民運動場で開かれました。
大会には国見・桑折両町から十七チームが参加、大会長の亀岡憲吾桑折地区交通安全協会会長があいさつ、富永武夫町長らが

17チームが熱戦 交通安全 ゲートボール大会

午前八時にプレーボール。抽せんでチームの所属を決めたあと、登録十チームから五十人が参加して日没までの約八時間にわたって三十インニングに挑戦しました。結果は19対16で鎌倉軍が勝ちました。



▲とべとべヒコーキ乙型2号

ナマの演劇を子どもたちに披露する福島県家庭劇場が十月二十三日、藤田小学校体育館で開かれ、町内小学校四年生以上の児童五百人が迫力ある劇を楽し

乙型2号上演 とべとべヒコーキ

祝辞を述べた後、さっそくプレー開始。「交通安全」のほりが秋風にたなびく、横断歩道を横切るときは左右の安全を確認してからボールを打つなどの特別ルールを取り入れ、和気あいのプレーを楽しみました。
成績は次のとおり。
優勝 松原チーム(桑折)
準優勝 桑折Aチーム(桑折)
第三位 半田チーム(桑折)
小坂チーム(国見)

「森江野小祭り」
森江野小学校(大竹英智校長)の「森小祭り」が十月二十六日、森江野小グラウンドでにぎやかに開かれました。
児童たちの自主性と創造性を育てよう、秋の収穫祭を兼ねて行われたので、全校児童が七つの班に分かれ、パターゴルフ、ボーリング、モグラたたき、輪投げなどの出し物を工夫。見

秋空の下
体育館の中央に低く据えられた丸い舞台を児童たちが取り囲んで、真剣な表情でステージに見入り、ふだん観賞することの少ない演劇を十分楽しんでいました。

みました。
家庭劇場は、文化庁助成による福島県教育委員会、町教育委員会主催の事業です。
この日の出物は、北海道の劇団「さつぽろ」による児童劇「とべとべヒコーキ乙型2号」。
遊びにすっかり退屈していた子どもたちが、仲間のひとりを持ち出してきたおじいさんの書いた飛行機の設計図に夢中になり、いろんな問題を乗り越えながら本物の飛行機を完成し、飛ぶ物語です。

編集日記
○暖かい日が続いていますが、11月7日は立冬。暑さにも弱いが、寒さにも弱い。私ですが、冬の楽しみはスキー。何回行っても上手になりませんが、この時期になると毎年スキー雑誌などを買い込んで、雪の降るのを楽しみに待っている私です。



▲「森小祭り」だワッショイ、ワッショイ!

子どもたちはグループごとに他の班のコーナーを回り、ゲームを楽しみました。また、全員で協力して作った四つのおみこしとまじい手に、グラウンドを練り歩き、祭り気分を盛り上げました。
その間、お母さんたちは芋煮会の準備。何杯もおかわりをする児童もおり、楽しい一日を過ごしました。